

Cisco IOSソフトウェア H.323 サービス拒否の脆弱性

High

アドバイザリーID : cisco-sa-20100324-h323

[CVE-2010-0582](#)

初公開日 : 2010-03-24 16:00

[0582](#)

最終更新日 : 2012-09-21 19:08

[CVE-](#)

バージョン 1.1 : Final

[2010-](#)

CVSSスコア : [7.8](#)

[0583](#)

回避策 : [Yes](#)

Cisco バグ ID : [CSCta19962](#) ,
[CSCtb93855](#)

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

Cisco IOSソフトウェアの H.323 実装は Cisco IOSソフトウェアの脆弱なバージョンを実行しているデバイスのサービス拒否 (DoS) 条件を引き起こすのにリモートで不正利用されるかもしれない 2 脆弱性が含まれています。

シスコはこれらの脆弱性に対処するソフトウェア アップデートを提供しています。H.323 が必要とならない場合脆弱 な デバイスの H.323 をディセーブルにすること以外これらの脆弱性を軽減する回避策がありません。

このアドバイザリーは [324-h323](#) で掲示されます。

注: 2010 年 3 月 24 日、Cisco IOSソフトウェア Security Advisory によって組み込まれる書は 7 つのセキュリティ アドバイザリーが含まれています。すべてのアドバイザリーは Cisco IOSソフトウェアの脆弱性に対処します。各アドバイザリーには、そのアドバイザリーで詳述された脆弱性を解決するリリースを記載しています。次の URL リストの表は正しい 2010 年 3 月 24 日送達されたすべての Cisco IOSソフトウェア脆弱性、またはそれ以前ことリリースします:

<http://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20100324-bundle>

"Cisco Event Response: 半年ごと Cisco IOSソフトウェア Security Advisory は次のリンクのパブリケーションを」組み込みました:

http://www.cisco.com/web/about/security/intelligence/Cisco_ERP_mar10.html

該当製品

修正済みソフトウェア

H.323 メッセージを処理するために設定される影響を受けた Cisco IOS ソフトウェアバージョンを実行している Cisco デバイスはこれらの脆弱性から影響を受けます。H.323 はデフォルトで有効になりません。

Cisco IOS ソフトウェア デバイスが H.323 サービスを運営したかどうか確認するために、**show process CPU** を使用して下さい | 次の例に示すように **323** コマンドを、**含んで下さい**:

```
Router#show process cpu | include 323
 249      16000      3      5333  0.00%  0.00%  0.00%  0 CCH323_CT
 250         0      1         0  0.00%  0.00%  0.00%  0 CCH323_DNS
Router#
```

前例でプロセス CCH323_CT および CCH323_DNS はデバイスで動作しています; 続いて、デバイスは H.323 メッセージを受信しています。デバイスはこれらのプロセスのうちのどれかが (または類似した) アクティブである限り脆弱です。

注: ポート TCP 1720 で受信する H.323 だけ影響を受けています。

Cisco 製品で稼働している Cisco IOS ソフトウェア リリースを確認するには、機器にログインし **show version** コマンドを実行してシステムバナーを表示させます。"Internetwork Operating System Software"、"Cisco IOS Software" あるいはこれらに類似するシステムバナーによってデバイスで Cisco IOS ソフトウェアが稼働していることを確認できます。その後ろにイメージ名が括弧の間に表示され、続いて "Version" と Cisco IOS ソフトウェア リリース名が表示されます。他の Cisco 機器では、**show version** コマンドがない場合や、表示が異なる場合があります。

以下の例は、Cisco 製品にて、IOS リリース 12.3(26) が稼働し、そのイメージ名が C2500-IS-Lであることを示しています:

```
Router#show version
Cisco Internetwork Operating System Software
IOS (tm) 2500 Software (C2500-IS-L), Version 12.3(26), RELEASE SOFTWARE (fc2)
Technical Support: http://www.cisco.com/techsupport
Copyright (c) 1986-2008 by cisco Systems, Inc.
Compiled Mon 17-Mar-08 14:39 by dchih
```

!--- output truncated

次の例は C1841-ADVENTERPRISEK9-M のインストール済みイメージ名前と Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.4(20)T を実行している Cisco 製品を指定したものです:

```
Router#show version
Cisco IOS Software, 1841 Software (C1841-ADVENTERPRISEK9-M), Version 12.4(20)T, RELEASE SOFTWARE (fc3)
Technical Support: http://www.cisco.com/techsupport
Copyright (c) 1986-2008 by Cisco Systems, Inc.
```

!--- output truncated

Cisco IOS ソフトウェアのリリース命名規則の追加情報は以下のリンクの "White Paper: Cisco IOS Reference Guide" で確認できます:

<http://www.cisco.com/web/about/security/intelligence/ios-ref.html>

脆弱性を含んでいないことが確認された製品

Cisco IOS XR ソフトウェアは、これらの脆弱性の影響を受けません。

他のシスコ製品においてこのアドバイザリの影響を受けるものは、現在確認されていません。

改訂履歴

リビジョン 1.1	2010-March-26	debug コマンドについての追加された注意。
リビジョン 1.0	2010-March-24	初回公開リリース

利用規約

本アドバイザリは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザリの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザリの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。